



みどり

12月号
平成29年11月30日
調布市立緑ヶ丘小学校
校長 小嶺 大進

E-mail
midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

子供たちの心にどんな種を植えるのか

校長 小嶺 大進

表面的な成長と内面の成長

早いものでもう12月になりました。年の瀬で何かと慌ただしい日々が続きます。学校では2学期のまとめ、世の中では1年の締めくくりです。新しい年に向かって清新な気持ちで出発していきたいものです。

2学期は、各学年の校外学習やミドリンコンサート等の行事はじめ、日常的な学習以外の取組が多くありました。子供たちは、その度に目標を決めて努力します。そして、成長します。目に見える形で成長したなど感じることも多くあります。しかし、成長は目に見えるものだけではなく、外には表れていない子供たちの心の中に蓄えられた内面の力があると確信しています。心の内に蓄えられた力はなかなか見えません。心のエネルギー（内面の力）をコップの水に例えてみます。透明なコップであれば水がどれくらい溜まったのか見ることができます。湯飲み茶碗の場合、外（横）から見てどれくらい水が溜まっているのか分かりません。心のエネルギーの見え方は、湯飲み茶碗と似ている



かけ算九九のチェックを受ける2年生

かもしれません。心のエネルギーの見え方は、湯飲み茶碗と似ているかもしれません。なかなか見えません。しかし、そのエネルギーが見える瞬間があります。それは、水が溢れ出すときです。一度溢れ出すと水を止めない限り溢れ続けます。今は成長しているのかそうでないのか分からない。早い段階で成長する子供もいれば、小学校時代には、それが見えにくく中学校、高校で大きく成長することも多くあります。勉強が苦手、友達との関わり方がよく分からない、学校へあまり行きたくない等、色々なことで悩んでいる子供たちもいます。現状だけを見ていて落ち込んでしまうこともあるかもしれません。大事なことは、私たち大人が、子供の心に良い種を植え、水を与えたり太陽の光を浴びさせたりすること。そして、それを続けること。一番やってはいけないこと、それは、仕方ないと諦めてしまうことです。

～“たいへん”なことにチャレンジしたミドリンコンサート（音楽会）～

11月17日・18日にミドリンコンサートを行いました。大勢の保護者・地域の皆様にご来校をいただき鑑賞してくださいました。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。各学年とも最終的に仕上がるまでに苦労がありましたが、当日は素晴らしい合唱・音楽劇・合奏（演奏）等をお届けすることができたのではないかと思います。小学生では難しいかなと思われる楽曲等にも挑戦しました。そんな中、子供たちはよく先生についてきてくれました。練習はそれこそ“たいへん”でした。子供たちに“たいへん”を漢字で書くと“大変”という話をしました。大変とは“大きく変わる”ことだよと伝えました。たいへんな中、努力するからこそ成長する。たいへんだけ諦めないで頑張るからこそ充実感や達成感があるのだと考えています。

～パンジー・チューリップ植栽～ 緑ヶ丘・仙川まちづくり協議会

11月25日（土）、まちづくり協議会の皆様が南門学校園に、パンジーとチューリップ（球根）を植えてくださいました。先日の児童朝会で子供たちに紹介をしました。美しい花が咲き薫る日を楽しみにしています。

～緑ヶ丘小学校親子そば体験～ 健全育成推進緑ヶ丘地区委員会

11月25日（土）、健全育成委員会主催の親子そば体験で、脱穀の作業をしました。これまで種まきや刈り取り等の作業を進めてきました。12月の粉ひき、そば打ち。子供たちもおいしいおそばを食べるのを楽しみにしているようです。

ミドリンコンサート特別号

心を一つに協力して音楽のとびらを開こう

一人ひとりが気持ちを合わせ、素適な歌声や音色が響き渡ったミドリンコンサート。それぞれの学年の子供たちの声を集めてみました。また、心のこもった各学年からの感想は各学年の廊下に掲示してあります。ご来校の際ぜひご覧ください。



1年 「だれにだっておたんじょうび」 「学校坂道」 「山のポルカ」

- さいしょは、ちょっときんちょうしたけど、うたをうたっていると、きんちょうが とんでいったみたいに たのしくなりました。
- 「山のポルカ」の けんぱんハーモニカで しきしゃを見ながらリズムよくふけて、よかったです。
- 「だれにだっておたんじょうび」のカードが、本ばんで、おくれずに上げられて、うれしかったです。
- うたっているときに、おうちの人のおかが見えました。にこにこしていたから、とってもうれしくなりました。

2年 「100万回いきたねこ」ほか

- みんなでしきを見て、天しの声でうたえてよかったです。分かれるところでいつもより大きな声でうたえたのがうれしかったです。
- 「地きゅうはまわる」は1くみと2くみ、そして3チームに分かれるのがきれいにうたえたと思いました。はじめふわっとうたえてれんしゅうの時よりもきれいだったと思いました。
- 「100万回いきたねこ」は「100万回100万回♪」というところをどんだんはやくうたえてうれしかったです。「おーんおーんないた♪」というところはかなしそうにうたえてよかったです。
- 「アメイジング・グレイス」で木きんでのれんしゅうはしきをあまり見ることができなかったけれど、本ばんはしきをいっぱい見て、みんなで心を一つにできてよかったです。

3年 「小さな世界」 「ブラジル」 ほか

- きれいな歌声を出すために、鼻のピリピリに気がつきました。練習のおかげで本番当日には、ピリピリが強くなりました。
- 1組と2組で分かれるところで、つられないようにした。
- ドレミパイプをリズムよくたたけて楽しかった。
- 手拍子を左右まちがえてしまい、休み時間にたくさん練習してできるようになりました。
- 友達にリコーダーの指使いを教えてもらって、きれいな音を体育館中にひびかせることができました。
- ブラジルでリズムをみんなと合わせるのが大変でした。しきをよくみて、本番で力を出し切ることができました。



4年 「U&I」 ほか

- 合唱の「U&I」では歌の詩の通りに、みんなの気持ちが一つになって歌えてとても楽しかったです。すてきなハーモニーをつくれてよかったです。「アンダー・ザ・シー」では、木琴が4人で出だしがそろってよかったです。練習をしっかりやったらみんなができるようになったのでよかったです。
- 私は今年初めて楽器を演奏することが出来ました。発表するときは緊張したけど、悔いのない、自分にとって最高の発表が出来たと思います。
- とても緊張していましたが、途中でやっと慣れて落ち着くことが出来ました。お父さんやお母さんにほめられて嬉しかったです。とても楽しいコンサートになりました。
- 島唄のお琴がしっかり弾けてよかったです。アンダー・ザ・シーのリコーダーではみんなの息が合っていてよかったです。

5年 「百花繚乱」 ほか

- 一学期からポディーパーカッションの音作りを始め、みんなの音をつなげて「宇宙の果てまで行ってB・P」を発表できました。1、2年生が「すごい」と言ってくれ、うれしかったです。
- 合唱「宝島」はアルトとソプラノの音がきれいに重なっているのを歌いながら感じる事ができました。
- 5月から音楽実行委員会を中心に決定した「彼こそは海賊」などの曲を上手に演奏でき、盛り上がったことがうれしかったです。
- 連合音楽会ではもっと多くの人がいるので、緊張せずにしっかりひいたり歌いたいです。そのために家でたくさん練習して本番で成功させたいです。

6年 「美女と野獣」 ほか

- 小学校生活の最後に、全員で協力し合って合唱・合奏することができてよかったです。また、たくさんの拍手をもらえて、とてもうれしかったです。
- 合唱や台詞は、最初のころ、みんなあまり声が出ていなかったけれど、練習を重ねるうちに大きくなり、本番でしっかり声を出すことができました。
- 会場からのアンコールの拍手がとてもうれしくて、「ひとりぼっちの晩餐会」の練習をしてきた甲斐がありました。アンコールがとても盛り上がり、大満足です。
- 今回、感じたことは、みんなで共通意識をもって取り組むことで団結力のある演奏になるということです。このことを音楽以外の場でも生かしていきたいです。

12月のカレンダー

調布市いのちと心の教育月間

1日(金)	保護者会(5, 6年) 脊柱側弯症検診(5年他)
4日(月)	人権週間(10日まで) クラブ活動
5日(火)	保護者会(3, 4年)安全指導 児童集会(連音発表)ミドリタイム
6日(水)	たてわり班活動 避難訓練
7日(木)	理科出前授業(4年)
8日(金)	連合音楽会(5年)
11日(月)	クラブ活動
12日(火)	さわやかタイム(2, 5年) ミドリタイム
13日(水)	「いのちと心の教育」 授業公開 5校時
15日(金)	社会科見学(6年)
19日(火)	さわやかタイム(3, 4年) ミドリタイム
22日(金)	給食終、大掃除5校時
25日(月)	終業式
26日(火)	冬季休業日始(~1月8日)

調布市では、生命尊重を基盤とした教育活動の充実を図るため、特に12月を「いのちと心の教育月間」と定めて、自他の生命(いのち)を大切にすることを教育活動を行っています。

本校でも、12月4日(月)の児童朝会では、校長が子供たちに対して「自他の生命(いのち)を大切にできる人間になろう」という講話を行います。また、各クラスでも一人一人の違いを認め合う学級指導を行い、13日(水)5校時には「いのちの尊さや一人一人がかけがえのない大切な存在であること」を学ぶ授業の授業公開を実施いたします。給食時間には、いのちと心の教育の歌「種」を流します。

ぜひ、来校されてご参観いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

♪♪ラジオレター調布の教育で
音楽会の様子が流れます。♪♪
調布 FM 83.8MHz

12月 6日(水)18:10頃
12月10日(日)14:40頃

3学期始業式についてのお知らせ

1月 9日(火) 始業式

持ち物:あゆみ、上履き、連絡帳、筆記用具、防災頭巾など

1月10日(水) 給食開始



12月の生活目標

『「人権」を大切にしましょう。』

12月10日「世界人権デー」に合わせ、日本では12月4日から12月10日までを「人権週間」としています。平成29年度の「第69回人権週間」の啓発活動重点目標は「みんなで築こう 人権の世紀 ~考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心~」となっています。各県や自治体ではそれに合わせ様々な取り組みを行っています。調布市のいのちと心の教育月間の取り組みと共に、本校では次のような取り組みを行っています。

- ・人権の花運動の推進校として各学年いただいたプランターの花の育成。
- ・児童の発達段階に応じて各学級で「生命尊重」に関する授業(道徳や学級活動など)を行う。
- ・児童集会で「ストップいじめ」集会を行う。それに合わせ、クラスで標語を決める。

世界中で「人権尊重」が訴えられ続け、「人権尊重教育の推進」が東京都の教育課題であるとも言われています。それらは裏返すと、人権を尊重されていない人がいるということを証明しているように思われます。「人権(または人権侵害)」のことを学ぶことにより、自分(たち)がすべきことを考え、行動できる、そんな子供たちを育てたいと考えます。そこで、12月の生活目標を「人権を大切にしましょう」と設定し、上記の取り組みを通して「人権」について考えていけるようにしたいと思います。